

紛争と平和構築 *Conflict and Peace Building*

中心概念 Central Idea

- Conflicts are everywhere and are necessary for making improvements.

キーコンセプト Key Concept

- Perspective 視点
- Causation 要因
- Responsibility 責任
- Reflective 振り返り

教科を横断した学び

- 国語 - 「カレーライス」「平和のとりで」
- 社会 - 日本史上の各種争い
- 道徳 - 「ばかじゃん」「ピアノの音が…」
- 図工 - 香港デモをモチーフにしたボードゲーム作り

単元のねらい

- 紛争の原因にはさまざまなものがあることを理解する。
- 紛争や平和が自分たちの生活とどのようにつながっているかを見出す。
- 平和構築のために私たちがどのように貢献できるかを考える。

目指す学習者像

- Communicator コミュニケーションできる人
- Reflective 振り返る人
- Thinker 考える人

単元を通してこんな子供になってほしい！（目指す価値変容）

今も昔も世界には争いがある。えてして他人事、遠いことのように感じられやすい争いだが、争いは身近なところにもあふれている。学校での友人とのけんかや家族の中での言い争いなど、数えきれないほどである。この単元では、日本史上の争いや海外の争いなどさまざまな争いについて考えたりリサーチしたりする中で、争いの原因や影響について知るとともに、グローバルな人間として平和構築のために自分ができることは何かを考え、実際に行動できる人になってほしいと願う。

単元の成果と課題

- ◎ 現在と過去の争いについての共通点を見つけられた。
- ◎ 現在進行中の争いを学習のテーマにすることで、児童が興味をもって学習に取り組むことができた。
- ▲ 単元終了時の児童の姿を予想できずに単元を進めてしまった。
- ▲ 争いを自分事としてとらえ、平和構築に対してどのような責任があるのかまで考えさせられなかったのではないかな。
- ▲ 校外学習が一度もなかった。
- ▲ つけたい力に対しての単元計画が事前に十分に立てられなかった。
- ▲ WLL をうまく探究サイクルの中に組み込めなかった。
- ▲ 6 ゴールズレクチャーをどのように単元に組み込むかが課題と感じた。

総括的評価課題 Summative assessment tasks

- ビデオ作り
 - ・香港デモについて
 - ・メッセージ「争いは人類にとって必要か」

本単元での指導事項（知識・スキル）

- 争いは世界中どこにでもあるもの…身近にも。
- 争いの原因には今と昔、日本と海外で共通しているものがある。
- 争いと教育の質・量は密接に関係している。
- 香港デモの背景・現状
- ロイロノートの使い方（プレゼン・思考ツール）
- 世界中で起きている争い（資源紛争・モンスターマンション・築地市場等）

次年度へのカリキュラム改善案を提示 (PDCA→P)

黒字 = 学習活動

青字 = 形成的評価課題

赤字 = 評価の観点

児童に意見を募集

【誰に？何を？どんな目的で？】発信すればこの問題が解決できるか？

ワークシート (スクリプト) 、ルーブリック

自己管理スキル、ソーシャルスキル

- ① Conflict から連想するもの
- ② ディスカッション (香港デモ) 問いの生成
- ③ 校外学習 (香港歴史博物館)
- ④ Conflict の原因

ワークシート (Y チャート : 見る・聞こえる・感じる) ①、ワークシート③

課題発見力、シンキングスキル

- ① Conflict の原因とは何か
- ② Conflict (身近～世界) についてとその原因
- ③ Conflict×教育 (WLL)
・あってよい/悪いちがい
・軍事費と教育費 ・マラスピーチ
- ④ 日本史上の Conflict

キーコンセプト①、GS 学習過程のイメージ図を活用②、プレゼン (ロイロノート) ④

リサーチスキル、自己管理スキル、シンキングスキル、コミュニケーションスキル

- ① Conflict の原因・影響と解決策
- ② 平和のために自分ができること

ウェビング①、ワークシート②

シンキングスキル、ソーシャルスキル

主体性

1. Tuning in

2. Finding Out

3. Sorting Out

4. Going Further

5. Making Conclusions

6. Student Action Project (SAP)

- ① 平和構築のために必要なもの 問いの生成
- ② ユニセフによるスクールトーク
- ③ いろいろな Conflict とその解決策
- ④ 海外の Conflict リサーチ

ワークシート②、ケーススタディ③、リサーチルーブリック④、プレゼン (パワーポイント) ④

リサーチスキル、コミュニケーションスキル、ソーシャルスキル、自己管理スキル

- ① Conflict の原因 (近～遠)
 - ② Conflict の影響 (近～遠)
 - ③ Conflict は私たちに必要なものか
- 首相への手紙 (エッセイ) 、レポート (ワード) ①②、ディベート③**

コミュニケーションスキル、ソーシャルスキル、自己管理スキル

備考

- ・ユニセフによるスクールトーク (4.Going Further) は事前の予約申し込みが必要。また、基本的には20人程度参加者がいないと受け入れてくれない。
- ・香港海防博物館 (西湾河) が2020年に再開される予定。どこかに組み込みたい。
- ・香港歴史博物館 (1.Tuning In) は例年2学期に通常級と共に言っていたが、1学期にこのユニットを学習する6年G組にとっては1学期に組み込む方がよい。しかし、修学旅行のことを考えると、GSのユニットと社会の単元を1学期と2学期をそのまま入れ替えることも考慮の余地がある (しかし、そうすると立法議会の予約取得をいつするかという課題が浮上する)。